

県本部通信

11

2019 November
No.211

Monthly Zen-noh Gunma



Contents

事業のうごき	2
インフォメーション	3～5
農業チャレンジャー	6
JAピックアップ!	7
アートクッキング	裏表紙
花木流通センター便り	裏表紙

あかぼり小菊の里
伊勢崎市磯町

あかぼり小菊の里は、峰岸山(標高168.3m)南斜面を利用し、約20,000株の小菊が植えられています。豊富な色彩を放つ一面の小菊と赤城山や浅間山などの山々を見渡す景色は素晴らしく、花と景観を合せて楽しむことができます。地元の「小菊の里づくりの会」を中心にボランティアの皆さんの尽力で運営されています。



私たち全農グループは、**生産者と消費者を**
安心で結ぶ懸け橋 になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

事業のうごき

JA群馬担い手サポートセンター

- JA生産販売計画の実践と目標達成に向けた取組支援
- 担い手の経営強化のための経営管理支援
- JA営農経済部門の人材育成支援
- TAC活動等JAの出向く体制強化支援
- 大規模経営農家・法人等の経営安定化支援
- JA野菜振興計画の目標達成に向けた取組支援
- 農産物の安全・安心確保対策
- 園芸作物生産実証農場の運営

畜産農産部

▶酪農畜産課

- 生乳計画生産の推進
- 初妊牛導入推進
- 素牛導入推進
- 種豚導入推進
- 渋川家畜市場若齢子牛の集荷推進
(優良ET卵産子の活用促進)

▶米麦特産課

- 令和元年産大豆集荷推進
- 令和2年産民間流通麦播種前契約推進
- 令和2年産民間流通麦播種面積推進
- こんにゃく生玉販売推進 (10月20日～12月13日)
- こんにゃく製品セット冬季特別推進 (11月～12月)
- 菌茸類種駒・種菌予約推進

園芸部

▶園芸販売課

- 共計ほうれん草販売 (周年)
- 共計チンゲンサイ販売 (周年)
- 共計味にら販売 (周年)
- 県統一規格共計露地なす販売 (11月末日迄)
- 共計干大根販売 (12月中旬迄)
- 県統一規格共計きゅうり抑制販売 (12月末日迄)
- 共計下仁田ねぎ販売 (1月末日迄)
- 共計上州ねぎ販売 (2月末日迄)
- 共計春菊販売 (3月上旬迄)
- 共計土ねぎ販売 (3月中旬迄)
- 共計白ねぎ販売 (3月末日迄)

▶販売促進課

- 秋冬野菜販売促進
- もやし類・加工野菜販売促進

- 花き販売促進

▶園芸資材課

- 冬用野菜出荷資材予約・当用推進
(段ボール・パック・フィルム・果樹用資材等)
- 温床資材予約推進
(農ポリ・トンネル資材・こんにゃくマルチ等)
- 春まき用野菜種子推進(ほうれん草・ねぎ・きゅうり等)
- 種馬铃薯予約注文とりまとめ

生産資材部

▶花木流通センター

- 大植木まつり 11月1日(金)～4日(月)
- 秋のお客様感謝セール 11月15日(金)～17日(日)

▶肥料農薬課

- セルフブレンド推進
- 麦肥料農薬推進
- 茎葉処理除草剤大型規格推進
- バンカーシート推進

▶施設住宅課

- 賃貸アパート・個人住宅推進 (周年)
- カクイチ物置・広スペースハウス推進 (周年)
- 住友不動産(株)「新築そっくりさん」推進 (周年)

生活部

▶生活課

- 太陽光発電推進 (周年)
- シロアリ防除事業推進 (周年)
- 仕込み味噌推進 (10月～3月)
- 上州もみ切りうどん推進 (10月～12月)
- JA高崎ハムお歳暮ギフト推進 (11月～12月)
- みかん推進 (11月～12月)

▶葬祭総合課

- 会員獲得募集の推進

▶石油課

- 秋期オイルキャンペーン (9月～11月)
- 秋期タイヤキャンペーン (10月～12月)

▶ガス課

- ガス器具推進 (4月～12月)
- 給湯器燃料転換促進 (7月～2月)
- 秋の厨房機器キャンペーン

TAC・営農渉外担当者研修会



JA群馬担い手サポートセンターは9月11日(水)に、JGAP指導員の資格を持つTAC・営農渉外担当者を対象にGAP視察研修会を開催しました。この研修は、近年、販売先のニーズに応える生産者のため、JA職員の知識や指導力の向上を目的としています。

研修先であるGAP総合研究所では、実践ポイントや指導方法のほか、隣接圃場で実際に管理している様子などを見ながら説明を受けることができ、参加者から日頃の疑問点など質問が相次ぎました。これからGAPに取り組む参加者からは、「導入を難しく考えていたが、とても参考になった」と話していました。

JA-SS夏のキャンペーン抽選会



9月18日(水)、伊藤本部長、狩野副本部長ら関係者によるJA-SS夏のキャンペーン抽選会が行われました。このキャンペーンは、日頃からJA-SSをご利用下さるお客様に感謝の気持ちを込めて、県内のJA-SSで7月から8月の2ヶ月間実施されました。応募総数52,043枚の中から厳選なる抽選のうえ、「富士急ハイランドフリーパス&ハイランドリゾートホテル1泊2日宿泊券」のほか、「カセットガススモークレス焼肉グリル“やきまる”」や「衣類スチーマー」な

どの当選者180人を決定しました。たくさんのご応募ありがとうございました。

エコーブ新茶 取扱JA拡大奨励要領に基づく 「表彰式典」



生活課は9月19日(木)、令和元年度エコーブ新茶取扱JA拡大奨励要領に基づく表彰式典を開催しました。エコーブ茶の取扱いについては、JA体制の変化や職員数の減少、組合員(消費者)ニーズや購入方法の多様化等の影響を受け、県全体の茶実績は減少傾向にあります。そこで生活課では、積極的にエコーブ茶の取扱拡大を図る職員を対象として新茶実績に応じたエコーブ新茶取扱奨励要領を制定し、これに伴う表彰を行いました。JA職員の活性化とJAの組織力の向上で事業拡大につなげるため、18人のJA職員を表彰しました。

重点取扱期間
令和元年.11/1-12/31

Aセット

セット内容

- 群馬県産とんかつ用紙用紙とんかつ用紙
- 群馬県産とんかつ用紙用紙とんかつ用紙
- 群馬県産とんかつ用紙用紙とんかつ用紙
- 群馬県産とんかつ用紙用紙とんかつ用紙
- 群馬県産とんかつ用紙用紙とんかつ用紙
- 群馬県産とんかつ用紙用紙とんかつ用紙
- 群馬県産とんかつ用紙用紙とんかつ用紙
- 群馬県産とんかつ用紙用紙とんかつ用紙

蒟蒻の冬

蒟蒻の冬

甘味セット

セット内容

- おきなとあんみつ
- ミルクな寒天(ブルーベリー)
- ミルクな寒天(ストロベリー)
- おきなとあんみつ(おきなとあんみつ)
- おきなとあんみつ(おきなとあんみつ)
- おきなとあんみつ(おきなとあんみつ)
- おきなとあんみつ(おきなとあんみつ)
- おきなとあんみつ(おきなとあんみつ)

特別セット

セット内容

- おきなとあんみつ
- おきなとあんみつ
- おきなとあんみつ
- おきなとあんみつ
- おきなとあんみつ
- おきなとあんみつ
- おきなとあんみつ
- おきなとあんみつ

【お問合せ先】 JA全農ぐんま 米麦特産課
TEL: 027-220-2251 FAX: 027-265-1415

令和元年産米の集荷対策並びに 麦生産流通対策会議



米麦特産課は9月27日(金)、令和元年産米の集荷対策並びに麦生産流通対策会議を開催し、県内各JAの担当者46人が出席しました。会議では、米の情勢・販売対策について具体的な内容の説明があり、買取方式を活用した集荷増・有利販売に繋げるための手続きについての確認が行われました。また、民間流通麦の生産流通対策として、令和元年産の仕組みの見直しを踏まえた2年産の対応などが説明されました。

JAたのふじ アシストホール吉井別館 家族葬ホール竣工記念式典



10月4日(金)、JAたのふじアシストホール吉井別館 家族葬ホールの竣工記念式典が執り行われ、JA役員や工事関係者、当県本部職員等約30人が出席しました。

同ホールでは家族葬に対するニーズの高まりを受け、敷地内に家族葬ホールと安置所を建設しました。規模の大きな葬儀から一般的な葬儀、家族や身内のみの小規模葬まで、故人様・ご家族様のご意向に寄り添うことができる充実した設備の総合葬祭式場です。

収穫感謝祭2019



10月5日(土)、6日(日)の2日間、JAビル南側大駐車場において「収穫感謝祭2019～ぐんまの農業応援団大集合! 耕そう、大地と地域の未来。」が開催されました。この催しは、JAグループ群馬が豊かな実りへの感謝と生産者と消費者の交流、群馬県農業の重要性や農業・農村の果たす多様な役割を考える機会として毎年開催しています。今年は天候にも恵まれ2日間で約5万人が来場しました。会場では、毎年恒例のキャベツの抱え取りや県産農畜産物の特売、上州牛・上州麦豚・きのこバター炒めなどの無料配布、ステージイベント等が行われ、両日とも多くの家族連れで賑わいました。



▲ 開会式典のテープカット



▲ きのこバター炒め



▲ こんにゃくガラボン



▲ 焼きおにぎり



▲ 上州牛・上州麦豚

豚コレラ対策 JA給油所に噴霧器



JAグループ群馬では家畜伝染病予防のため、これまで2回にわたり県内の養豚農家に消石灰を配布するなどの対応をしてきました。しかし、10月3日(木)に県内で捕獲した野生のイノシシが豚コレラに感染していたことが県内で初めて確認されました。これを受けてJAグループ群馬は、県内62カ所のJA給油所に蓄圧式噴霧器を常設し、発生予防の徹底を図ることを発表し、15日(火)までに噴霧器の設置を完了しました。豚コレラウィルスは野生のイノシシはもちろん、土などに付いて運ばれる恐れがありますので、登山や山菜取りなどで山林内に入った方へタイヤや靴底の消毒をお願いしています。養豚農家を豚コレラから守るため、発生予防の徹底に努めます。

JAたのふじ統合新支店 新築工事 起工式



10月7日(月)、JAたのふじ統合新支所新築工事起工式が執り行われ、JA役職員や工事関係者、当県本部職員等約20人が出席しました。新支店は、美土里支店・藤岡支店・小野支店を統合した支店です。通常の金融店舗機能のほか、ローンセンターの相談窓口があり、内部に仕切りを設置することで、相談窓口の土日営業に対応可能です。またロビー・営業室はOAフロアで計画し、時代に沿ったレイアウト変更に対応で

きるほか、建物南面は入りやすさを意識したガラスのカーテンウォールを取り入れます。完成は、令和2年7月の予定です。

こんにゃく作況調査



こんにゃくの生産量の的確な把握により、価格の安定を図ることを目的としたこんにゃく作況調査が10月8日(火)から10日(木)に群馬県蒟蒻生産協議会の主催により実施されました。期間中は県内60ヶ所の圃場において、畝幅・掘り取り長・害虫の状態・球数・重量等の調査が行われました。調査結果は、地域や圃場によって作柄に差がありますが、収量予測は、減産となった前年を上回る見込みとなりました。

JGAP指導員基礎研修会



JA群馬担い手サポートセンターは10月10日(木)・11日(金)、JAぐんま研修センターでJGAP指導員基礎研修会を開催し、JA担当者約20人が出席しました。GAP総合研究所より講師を招き、JGAPの実践講座と基準文書の解説、総合規則についての研修が行われました。研修会終了後に実施する持ち帰り試験の合格者は、JGAP指導員資格を取得し、JGAPの実践に向けた取り組みを支援します。

JAグループは県と連携して、今年度末を目途に1JA1件以上の実践を目指し、指導員の育成とGAPの推進に取り組んでいます。

農業チャレンジャー

農 チャレ

高い技術で
効率よく品質の良いものを

J A利根沼田管内
加藤道博さん

J A利根沼田



／ Profile ／

加藤 道博 (かとう・みちひろ)さん

1981年生まれ 38歳

ほうれん草部会・フキ部会

J A利根沼田青年部糸之瀬支部長
を務める。

栽培面積：施設野菜…約1.5ha

露地野菜…約8ha

趣味：スノーボード



1 収穫作業をする加藤さん。ほうれん草のハウスは40棟ほどあるそうです。

2 作業効率を上げるため長さが揃ったほうれん草を育てています。

—今回の農業チャレンジャーは、J A利根沼田管内の糸之瀬地区でほうれん草やこんにゃく、フキなどを生産する加藤さんです。

—就農のきっかけは？

県外で会社勤めをしていましたが、農家の長男でいずれ戻って継いだ方がいいのかと漠然と考えていました。結婚を機に妻に話したら「農業は面白そうだね」と言って背中を押してくれました。31歳で就農して8年目です。

—大まかな生産のスケジュールは？

2月にフキノトウ出荷、3月にこんにゃく選別、4月にフキ出荷、5・6月にこんにゃく植え付け、6～10月にほうれん草出荷、10・11月にこんにゃく出荷、12月にほうれん草出荷で、1月には事務整理をしています。

—ほうれん草の最盛期には、1日にどれくらい出荷するのですか？

平均8人の従業員に来てもらい、多い日で150ケースほど出荷します。

—心掛けていることは？

作業を平準化し、従業員に年間安定して働いてもらえる環境を整えることを心掛けています。経験則や勘だった作業の記録を取って、年間の作業記録を見て、タイミングを考えて作業の平準化に取り組んでいます。

—こちらの地域ではフキの生産も盛んですね。

フキは愛知県に次いで群馬県が全国2位の

産地です。県内では利根沼田地域が一番の産地で、J A利根沼田フキ部会の会員は、半数近くがこの糸之瀬地区です。

—糸之瀬地区のフキ部会の会員は何軒くらい？

糸之瀬地区は23軒です。5年前の雪害でハウスが倒壊し、生産をやめてしまった人もいて、生産量がかなり減りました。フキは煮物などで食べる昔ながらの和食の食材ですが、調理が面倒なため、若い人たちが食べなくなっています。季節を感じる事は日本人が大事にしてきたことで、旬のものを食べて季節を感じる文化がなくなったらもったいないです。フキを生産する仲間と、自分たちが支えて維持していかなければと話しています。

—フキ部会ではどのような活動をしている？

調理をしたものを市場に持参して試食会をしたり、毎年部会の役員を中心に市場に挨拶に出向いたりして、単なるフキが入った箱を扱う感覚にならないように、生産者の顔を見せて市場関係者との繋がりを作っています。

—今後の展望をお聞かせください。

肥料設計や栽培管理などのより高い技術を身に付け、効率よく品質の良いものを生産し、収入と雇用の安定と、無理のない範囲で規模を拡大していきたいと思っています。

—フキの生産を通して日本文化を守り、より高い技術の習得に努める加藤さんに、今後さらなる活躍が期待されます。

JA赤城たちばな



▲ 労力と時間を削減できるネギ用カートMK型を実演!

リッド粒剤やアフエットについて紹介。殺菌剤の最適な散布時期や使い方の注意点、蒔き方のポイントなどアドバイスしていました。

最後に(株)ヤマホ工業の石川さんらが農薬灌注機のネギ用カートMK型を紹介し実演しました。

ネギの黒腐菌核病
生産者ら体系防除を確認

ネギで猛威を振るっている黒腐菌核病を防除しようと赤城橋ねぎ部会は7月30日、北橋営農生活センターで黒腐菌核病現地講習会を開きました。生産者や関係者ら約60人が参加。

黒腐菌核病は、土壌伝染性の病害で、ネギからネギへ菌系による二次感染を繰り返しほ場全体に広がる病害で、管内でも発生が増加しています。

渋川地区農業指導センターの後藤さんが、ネギほ場日平均地温の推移と黒腐菌核病の発病温度の関係など特徴を説明。「生育期の薬剤防除は、病原菌の活動適温になる前の予防散布を徹底してほしい」と話しました。

(株)三井化学アグロの近野さんは殺菌剤のモンガ

GAP講習会開催

JAにっただみどりでは8月26日本店2階会議室、8月29日新田営農センター2階会議室にて、「食の安全・安心」のためのGAP取組みについて講師に群馬県の松沼専門技術員を招き講習会を開催しました。講習では、作業場の整理整頓や作業工程等の見直しによる作業の効率化、残留農薬・異物混入対策、環境に配慮した農業の実践等について説明がありました。

また、東部農業事務所や桐生地区農業指導センターより、管内の生産者の圃場や作業場を巡回した結果、優良事例の発表も行われました。参加者は改めてGAPの大切さを実感していました。

JAでは今後とも、安心安全な新鮮野菜の供給のため、GAPの普及に努めていきます。

JAにっただみどり



▲ GAP講習会



※タイトル・放送内容等は
変更となることがあります。

GTV 48ch 放映のお知らせ

番組名／提供	放送日 ※再放送日	時 間
力を合わせて食農教育! / JA前橋市	11月11日(月)	PM 9:00 ~ 9:30
	※11月17日(日)	AM 8:00 ~ 8:30
加工品であがつまの魅力発信! / JAあがつま	11月18日(月)	PM 9:00 ~ 9:30
	※11月24日(日)	AM 8:00 ~ 8:30



能登 瑤子アナ

つきこんにゃくのカレー風味



材 料

2人分 (1人分42kcal)

- つきこんにゃく……………1袋
にんにく……………1かけ
オクラ……………2本
サラダ油……………大さじ1
- [B]** カレー粉……………小さじ1
クミンシード……………小さじ1/2
ターメリック……………小さじ1/2弱
麺つゆ……………大さじ1強

作り方

- 1 つきこんにゃくはサツと茹で、アク抜きし2～3つに切る。
- 2 にんにくはみじん切りする。オクラは小口切りにする。
- 3 フライパンにサラダ油を熱し、つきこんにゃくを炒め、にんにくみじんも加えて炒める。**B**を入れよく炒め、仕上げにオクラを混ぜる。



Food adviser 石垣 恵美

1979年から群馬県家の光講師。
FM局等でも活躍中。

しらたきの タイ風和え物



材 料

2人分 (1人分39kcal)

- しらたき……………1袋
きゅうり……………1本
トマト……………1個
赤玉ねぎ……………1/4個
えび……………150g

- [A]** ナンプラー……………大さじ3弱
レモン汁……………大さじ2強
塩……………小さじ1/4
ハチミツ……………小さじ1強
タバスコ……………小さじ1弱
(スイートチリー)
チリペッパー……………少々
コショウ……………少々

作り方

- 1 しらたきは茹でてアク抜きし3～4つに切る。
- 2 きゅうりは2～3mmの半月切りにする。
- 3 トマトは1cmぐらいのザク切りにする。
- 4 赤玉ねぎは薄切りにする。
- 5 えびは皮つきのままサツと塩茹でし、皮と背ワタをとる。大きなえびは2つ切りにする。
- 6 ボールに1から5までの材料を入れ、**A**を加え、よく混ぜて味を調える。(塩味・辛みは好みで調節)

花木流通センター イベント情報

開催日

11月15日(金)～17日(日)

フェア

秋のお客様感謝セール

開催日

11月13日(水)

講習会

ハーバリウムでクリスマスランプを作ろう

11月21日(木)

寄せ植え講習会

●玉ねぎ苗 販売中！



群馬テレビ「JAみどりの風」で
花木流通センターが放送されます！

是非、
ご覧ください！

放送日：12月2日(月)PM9:00～9:30(再放送：12月8日(日)AM8:00～8:30)



11月は食欲の秋ということで、花木流通センターでは、国府白菜や新田のやまと芋をはじめ、たくさんの県内特産物がみのり館を賑やかにしています。

また、みのり館内のみのり食堂、手作りパン工房でも期間限定メニューを販売中です。この機会に是非ご賞味ください。

皆様のご来店を心よりお待ちしております。



KABOKU
花 木 流 通 セ ン タ ー

みのり館
新鮮ぐんま

営業時間 9:00～18:00 6月～2月 毎週火曜日は休

一取扱品目一
□園芸資材館/営農・園芸資材等□ふらわーらんど/鉢花、花苗等□JA植木コーナー/緑花木、盆栽等□エクステージ/外構・造園工事等□新鮮ぐんまみのり館/産直野菜、農畜産加工品、手作りパン・ハム・食堂等□外売場/野菜苗、大型肥料・用土、植木鉢等



前橋市亀里町1307-1
TEL027-220-2427 FAX027-220-2424

【県本部通信】における個人情報の取扱いについて

【県本部通信】に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。

〈あて先〉〒379-2147 群馬県前橋市亀里町1310番 JA 全農ぐんま「県本部通信」係まで
E-mail : info-gunma@gm.zennoh.or.jp ※JA メール等でも結構です。